

HPでは、通訳の現場と授業での経験を元に、フランス語学習上のアドバイスを提供しております：

「フランス語通訳 小林新樹」

<http://www.muse.dti.ne.jp/~kbys/jp.html>

項目として特にお勧めなのが、

- 1) 仏仏辞典を引くのが良いと知ってはいるけれど
ついつい仏和辞典で済ませてしまう... そこで敢えて仏仏辞典を引くことの意義を具体例で解説。
- 2) 日本語力を上げるにはどうすれば？
と受講生の方に詰め寄られました。丸谷才一の『文章読本』に名文を読めと書いてあります...
- 3) 会話レッスンの効果的活用法
ヒアリングの練習は、Podcast で好きなだけできる時代です。フランス人の個人レッスンを受ける際、高い料金を払って相手に喋らせていては、お金の無駄です...
- 4) テーマの理解に役立つ単語帳作成法
専門用語を単にアルファベット順に並べるのではなく、意味上の相互関係を反映する形で並べ替えていく内に、テーマに関する理解が深まります。
- 5) 自家製単語帳を順次公開
「一般・経済」
「技術一般」
「生物学」
「医学」
「環境・エネルギー」
「歴史」
などなどがダウンロードできます。

さて皆様は、フランスの子供なら幾つも暗記しているラ・フォンテーヌの寓話詩をご存知でしょう。

古代ギリシャの寓話集『イソップ物語』を換骨奪胎した感もありますが、全てフランス語の韻を踏んだ詩になっているところがミソです。その中で特に気に入っているのが

La Laitière et le pot au lait

乳搾りの女が、
牛乳の壺を頭に乗せて、
町へ売りに行く。
道すがら頭の中で皮算用。
売上金で100個の卵を買い、
3羽の雌鳥に抱かせてヒナを育てる。
それを売れば豚が一匹買えて、
太らせて売れば雌牛と子牛が買える。
その子牛がウチの羊達と一緒に、
飛び跳ねるのが目に見えるよう。
女は興奮して自分も飛び跳ねる。
壺が頭から落っこちて、
卵もヒナも豚も、雌牛も子牛も、
みんな夢と消えた。

Quel esprit ne bat la campagne ?
Qui ne fait châteaux en Espagne ?
Picrochole, Pyrrhus, la laitière, enfin tous,
Autant les sages que les fous,
Chacun songe en veillant; il n'est rien de plus doux :
Une flatteuse erreur emporte alors nos âmes;
Tout le bien du monde est à nous,
Tous les honneurs, toutes les femmes.
Quand je suis seul, je fais aux plus braves un défi;
Je m'écarte, je vais détrôner le Sophi;
On m'élit roi, mon peuple m'aime;
Les diadèmes vont sur ma tête pleuvant;
Quelque accident fait-il que je rentre en moi-même,
Je suis Gros-Jean comme devant.

実現のあてもない夢に耽らぬ人がいようか。
スペインに我が城を築くなどと、
途方もない夢を見ぬ者がいようか。
伝説の人物も乳搾りの女も、
賢者も狂人も。
白昼夢ほど心地良いものは無い。
この世の財宝も名誉も、
女性も全て我がもの。
どんな勇者にも負けず、
我は王位に就き、民に愛され、
世界中の王冠が我が手に転がり込む。
ふと我に返れば、
やっぱりただの間抜け。

(岩波文庫版、今野一雄訳を自由に翻案)

というわけで、Quel esprit ne bat la campagne? を題名に借りて
ブログを綴っております：

「あてもなき 夢に耽らぬ 人やある」

<http://sksrg.blog82.fc2.com>

中身は特にフランス語と関係ありませんが、

早期英語教育の問題点
言葉、ことば、言の葉
時の流れが実感できる年表 (日・仏)
趣味で読む『源氏物語』

などのカテゴリーがあり、言語に関心をお持ちの皆様には、覗いて
頂けるのではないかと思う次第です。